Panasonic

保管用

ピンスポットライト

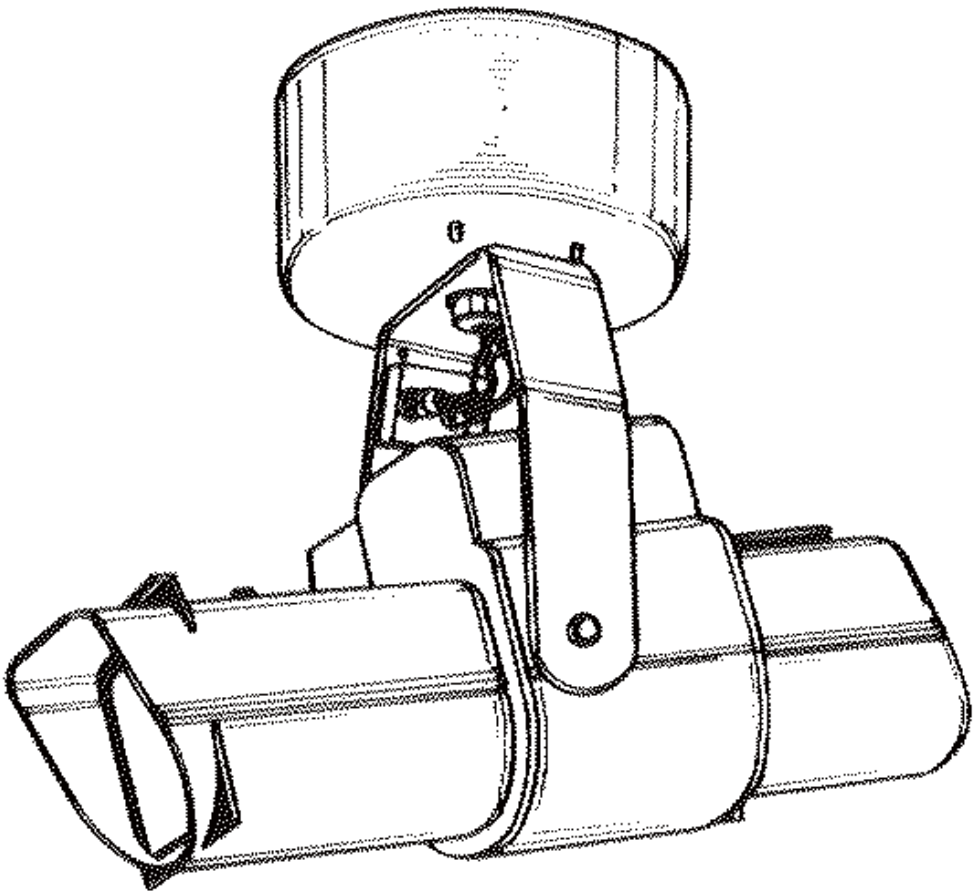
舞台照明器具

NQ31172K　NQ31272K（電動式）
NK35172　（操作ボックス）

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

工事店様へ ・・・ この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
お客様へ ・・・ この取扱説明書は必ず保管してください。



安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- スポットライトの表面に可燃物が触れたり、近接させないようにしてください。
  火災の原因になります。
- 被照射面が可燃物の場合、スポットライトから被照射面までの距離を2m以上離してください。
  火災の原因になります。
- 点灯中や消灯直後のスポットライトに触らないでください。
  火傷の原因になります。
- スポットライトの改造はしないでください。
  故障や破損の原因になります。

⚠ 注意

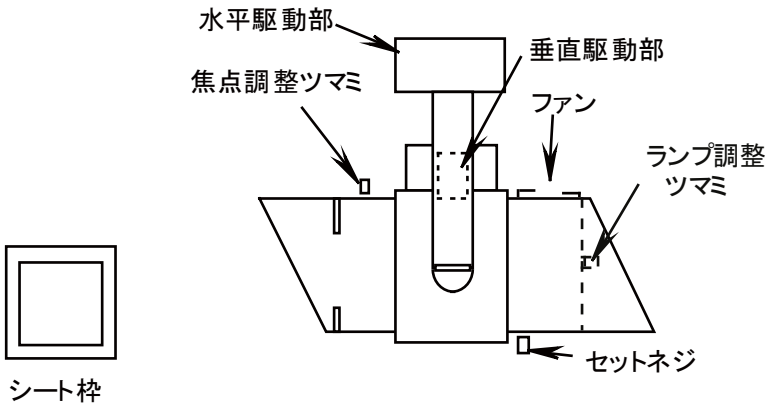
- ソケット、プラグは有寿命部品です。専門のメンテナンス業者に点検等、おまかせください。
  漏電や火災の原因になります。
- 湿気の多い場所、水のかかる場所には使用しないでください。
  感電する恐れがあります。
- レンズ、ランプなどが損傷、熱変形した場合は、必ず交換してください。
  落下するとケガの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して※10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
  点検・交換してください。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
  ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合・移動やシューティングの頻度が高い場合などは寿命が短くなります。
  ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
  3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
  点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

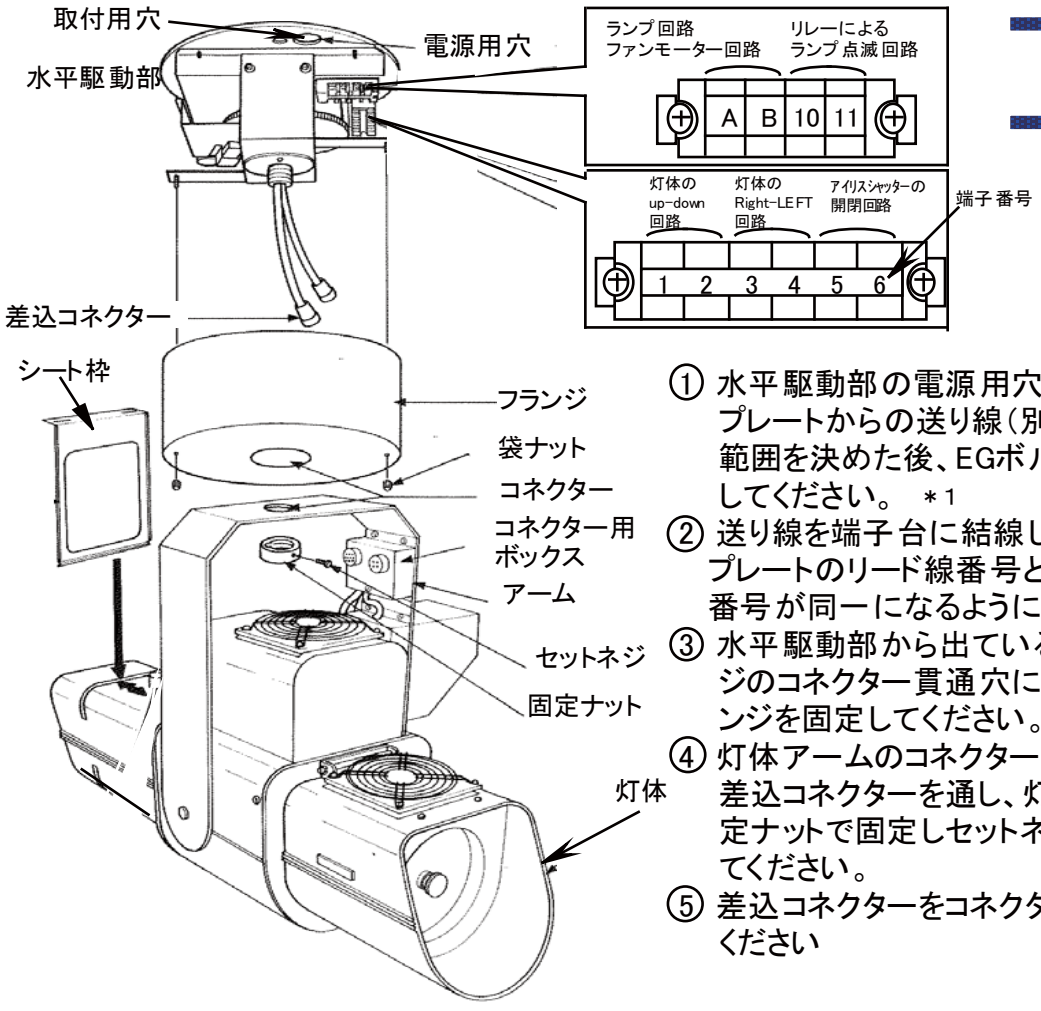
- 周囲温度40℃以下で使用してください。
  それを超えると故障や破損の原因になります。
- 定期的にメンテが必要です。メンテしないと故障や破損の原因になります。
- 腐食性ガス等の発生する場所では使用しないでください。
  スポットライトの故障や破損の原因になります。
- 初めて点灯させた時、煙が出ることがありますが異常ではありません。
  耐熱塗装（400℃）の一時的な現象です。
- 構成部品の交換は、指定の交換部品以外は使用しないでください。
  スポットライトの故障や破損の原因になります。
- スタンドに取り付けた場合、点灯させないでください。
  ケガの原因になります。
- スポットライトは丁寧に扱ってください。
  乱暴に扱いますとスポットライトの損傷やランプ切れ等につながります。
- 万一破損したり、異常を感じた場合は直ちに電源を切ってください。
- 冷却ファン付ですので、調光演出できません。

◆ 各部のなまえと別売部品

NQ31172K
NQ31272K



◆ 取り付け方・・・スポットライトは次の方法で取り付けができます



NQ31172K
NQ31272K

① 水平駆動部の電源用穴に操作ボックスの接続プレートからの送り線（別売）を通し水平回転の範囲を決めた後、EGボルトにより天井面を固定してください。 ＊1

② 送り線を端子台に結線してください。なお、接続プレートのリード線番号と水平駆動部の端子台番号が同一になるように結線してください。

③ 水平駆動部から出ている差込コネクターをフランジのコネクター貫通穴に通し、袋ナットによりフランジを固定してください。

④ 灯体アームのコネクター貫通穴及び固定ナットに差込コネクターを通し、灯体の照射方向を決め固定ナットで固定しセットネジにより緩み止めを行ってください。

⑤ 差込コネクターをコネクターボックスに差し込んでください

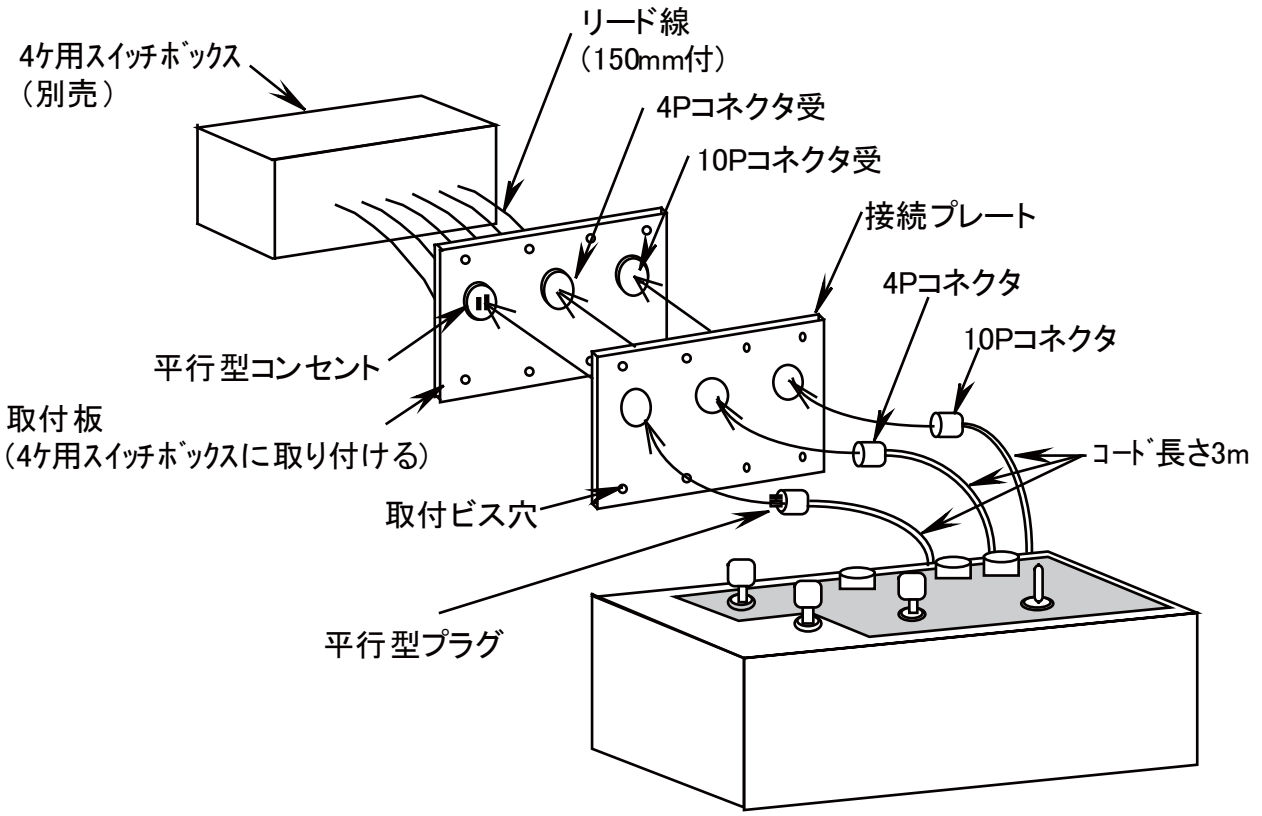
水平駆動部

（ご注意）
取り付けは水平場所に
確実に行ってください。

＊1
水平駆動部の回転範囲は
端子台を中心にして左右150°です

◆ 取り付け方・・・操作ボックスは次の方法で取り付けができます

NK35172



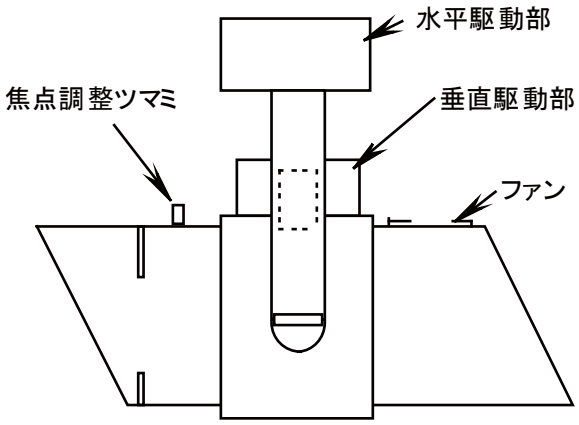
操作ボックス

1. 4ヶ用スイッチボックス内で注力電源線と平行型コンセントのリード線（R・N）*
   及び、灯体からの置く離船と4P・10Pコネクタ受のリード線（1～6・10・11・A・B）*
   を結線してください。（ただし、10Pコネクタの内4Pは予備です）
2. 取付板及び接続プレートを4ヶ用スイッチボックスに取り付けてください。
3. 操作ボックスより出ている4P・10Pコネクタを接続プレートの4P・10Pコネクタ受へ
   差し込んでください。（ただし、10Pコネクタの内4Pは予備です）
4. 平行型プラグを接続プレートの平行型コンセントに差し込んでください。

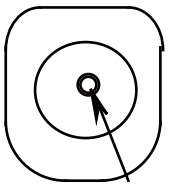
＊ 灯体と操作部の結線の方法参照

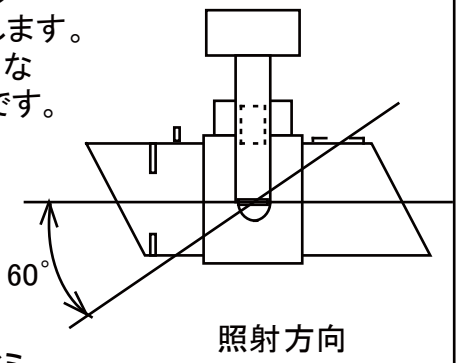
◆ 操作方法

NQ31172K
NQ31272K



● ランプ位置調整
ランプ調整ツマミを
右に回すと前へ移動し
左に回すと後へ移動します。
ランプを反射板の正常な
位置へ調整するものです。





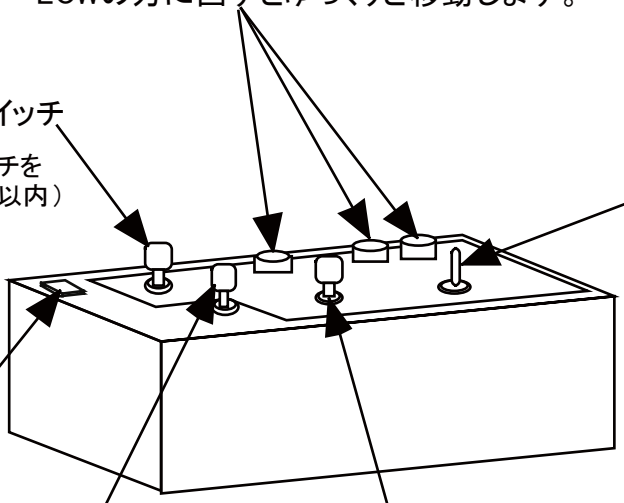
NK35172

（NQ31172K・NQ31272Kを
遠隔操作できます。）

● 速度調節ボリュームツマミを
HIGHの方に回すと速く移動し
LOWの方に回すとゆっくりと移動します。

ドライブ（駆動）スイッチ

ドライブ（駆動）スイッチを
OFFにした直後（5秒以内）
に首振操作レバーを
操作しますと灯体が
動きますので
ご注意ください。



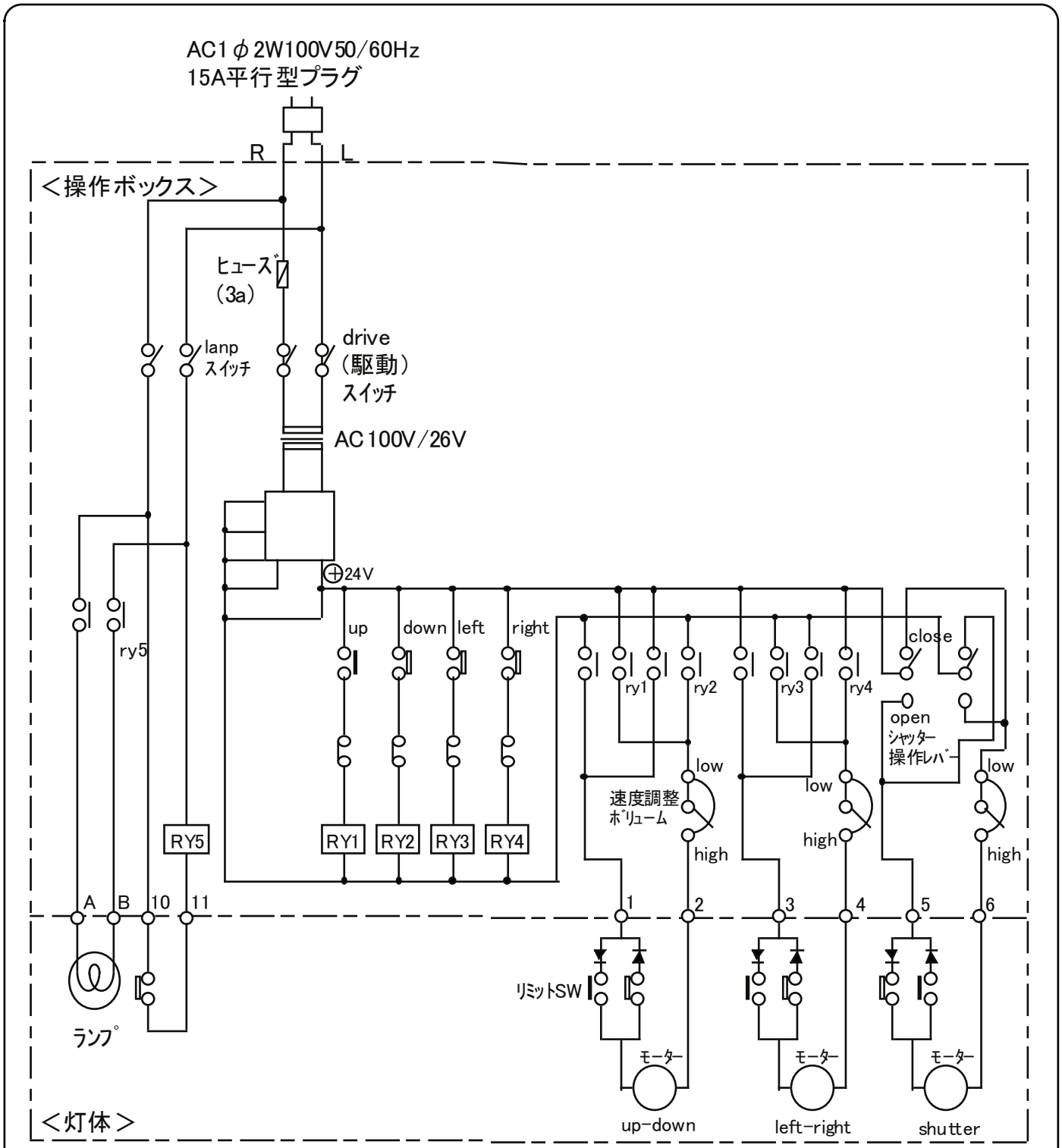
● 首振操作レバー
RIGHT側に倒すと像に向かって
右方向に移動します。
UPとRIGHTの中間にしますと、
右上方向に移動します。
他の操作も同じ要領で移動します。

パイロットランプ
（受電灯）

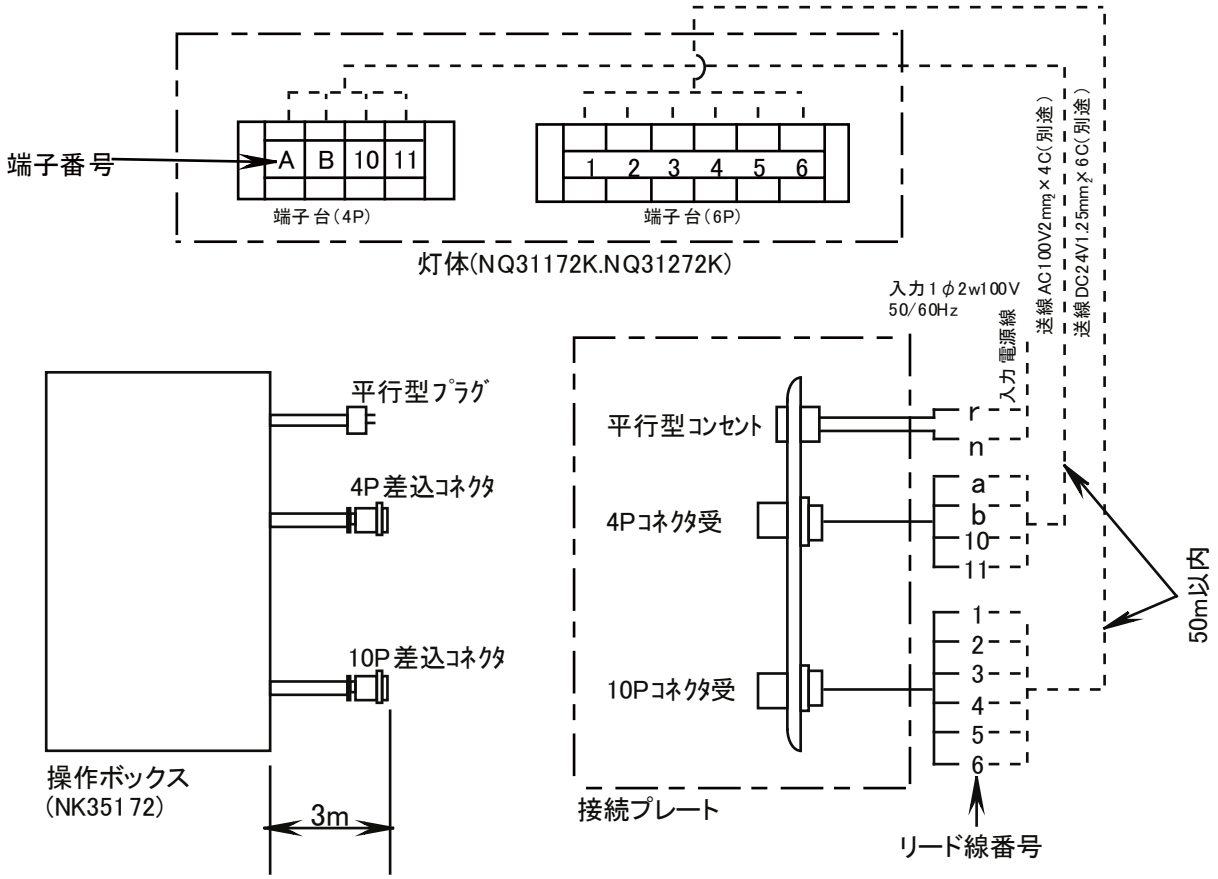
ランプ点滅用スイッチ
（同時にファンも入／切します）

● シャッター操作レバー
レバーをCLOSE側に倒すとアイリスシャッターが
閉じ、最後にランプが消えます。OPEN側に倒すと
ランプが点灯しアイリスシャッターが開き像の大き
さが調節できます。

◆ 回路構成図


AC1φ2W100V50/60Hz
15A平行型プラグ
R
L
＜操作ボックス＞
ヒューズ
(3a)
lanp
スイッチ
drive
(駆動)
スイッチ
AC100V/26V
⊕24V
ry5
up
down
left
right
ry1
ry2
ry3
ry4
close
open
シャッター
操作レバー
low
high
速度調整
ボリューム
RY5
RY1
RY2
RY3
RY4
A
B
10
11
1
2
3
4
5
6
ランプ
リミットSW
モーター
up-down
left-right
shutter
＜灯体＞

◆ 灯体と操作部の結線の方法

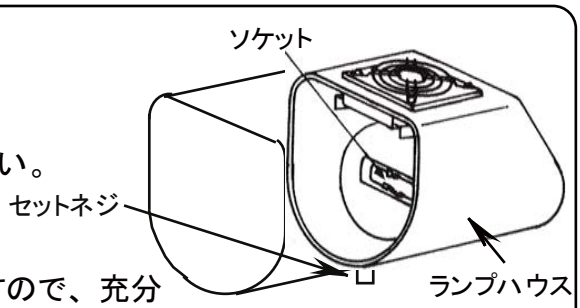


(ご注意)

1. 灯体と接続プレートとの間の送り線(別途)は灯体側の端子番号と接続プレート側のリード線とが誤結線されますと器具が損傷しますので同一番号になるように結線してください。
2. 灯体と接続プレート間の送り線は50m以内にしてください。

◆ ランプの交換

1. 電源を切ってください。
2. セットネジをゆるめ、ランプハウスを開いてください。
3. ランプの磁器の部分を持って（ランプのガラス部分は素手で持たないでください）ソケットに差し込んでください。



（ご注意）

1. ランプ切れをした直後のランプ交換は熱をもっていますので、充分注意してください。
2. ランプのガラスに指紋がついたまま点灯しますと失透（ガラスの変質）を 起こしトラブルの原因となります。なお、万一ガラスに手が触れたり汚れた場合には、アルコールまたはシンナーを浸した布できれいにふきとり、乾かしてからお取り付けください。
   中性洗剤は使用しないでください。ガラスの変質の原因になります。

◆ スポットライト質量および外かく温度

		NQ31172K	NQ31272K
質量		16.0 kg	16.0 kg
外かく温度	5分間点灯後	65℃	80℃
	点灯の安定時	130℃	150℃

◆ 交換部品 （保守のため部品を交換される場合、下記の品番のものをお求めください）

部品名称		NQ31172K		NQ31272K	
消耗部品	部品名	定格	ご注文品番	定格	ご注文品番
	適合ランプ	JPD100V650WC・T/G 200時間	LR065531	JPD100V1000WC/G 200時間	LR100731
	カラーフィルター	450× 570	カタログ参照	450× 570	カタログ参照
有寿命部品	ソケット	125V12A GYX9.5	NKB5010G	125V12A GYX9.5	NKB5010G
	アイリスシャッター		NK3303		NK3303

◆ 保守とお手入れ

●常に明るさを保って使って頂く為に、定期的に掃除をしてください。

器具の汚れは中性洗剤を浸した柔らかい布で拭き取ってください。アルコール・シンナーなどの揮発性のもので拭かないでください。変質・変色の原因になります。

●機能を十分発揮し、安全・安心して使用頂く為には、専門家の定期的な点検・調整・保全が必要です。
定期点検は、弊社エンジニアリング会社とのメンテナンス契約を実施してください。

パナソニック電工株式会社（〒571-8686） 大阪府門真市門真1048　TEL(06) 6908-1131〈大代表〉

・この取扱説明書は平成17年3月22日に作成されたもの です。